

# 友 穆

FRIEND OF SPORTS

友穆(ゆうぼく)～仲の良い友の意

宮崎書

札幌市スポーツ推進委員会広報誌 Vol.110



特集

## FLOOR BALL

フロアボール

&

スノーホッケー

## SNOW HOCKEY



活動紹介 西区みんなで楽しむマラソン大会 (西区)

# フロアボール

フロアボールは、スティックを使い、プラスチック製のボールを相手チームのゴールに入れて、得点を競う屋内競技です。

防具不要で、安全性が高いことに加え、ルールも簡単で初心者でも気軽にプレイすることができます。



## 試合

試合は、通常、周囲を四隅に丸みを持たせた高さ50cmの板で囲った40m×20mのコートで、1ピリオド20分、3ピリオド制で行います。

チーム構成は、1チーム6人。うち1人はキーパーとします。

## 未来のオリンピック選手を目指せ!!

現在、国際フロアボール連盟は、2024年のオリンピック種目へのフロアボールの採用を目指しています。

「もいわ地区センター」での取材当日、体験に参加していた近隣の小学校に通う子供たちに「オリンピック出てみたい?」と聞くと、その場にいた全員が「出てみたい!!」と元気に手を挙げました。

フロアボールは、日本ではまだまだこれからの競技ですが、もしかすると10年後、この「もいわ地区センター」からオリンピック選手が生まれるかもしれません。



## 用具

フロアボールは、上靴とスティック、ボールだけでプレイすることができます。

現在、フロアボールが体験できる「もいわ地区センター」では、上靴以外の用具を借りて体験することができます。

また、マイスティックが欲しい方は、インターネットなどで購入できます(子供用 2,000円～・大人用 6,000円～)。

## 歴史

競技の発祥は、1970年代前半のスウェーデン。学校やクラブチームなどで競技人口が増え、その後、ヨーロッパに広まってきました。

1996年からは世界選手権も行われており、現在では、スウェーデン、フィンランド、スイスなど世界50カ国以上の国で行われるワールドスポーツとなっています。



## 体験

市内では、以下の施設で体験することができます。

- ①もいわ地区センター  
所在地：南区川沿8条2丁目  
実施日：毎週金曜日 18:00～21:00  
持ち物：上靴(スティックの貸出あり)  
詳細：もいわ地区センター (TEL 572-5733)
- ②福移小学校  
所在地：東区中沼町240  
実施日：事前にお問い合わせください  
持ち物：上靴(スティックの貸出あり)  
詳細：萩中さん (TEL 090-3770-2384/791-2479)

# スノーホッケー

スノーホッケーは、木製のスティックでボールを相手チームのゴールに入れ、得点を競う雪上競技です。

雪上を滑走できるミニスキーのような「レッツ」という用具を靴に付けてプレイするのが特徴です。



## 試合

試合は、通常30～36m×24～28mのコートを使用して、15分ハーフの前後半戦で行います。

1チーム7人構成で、原則、フォワード3人、ハーフ2人、バック2人としませんが、配置、交代は基本的に自由です。

## スノーホッケー体験!!

今回は、東区の長太委員と手稲区の手山委員が取材に参加し、スノーホッケーに初挑戦しました。



長太委員

久しぶりに雪の上を思い切り走り回りました。

ボールを追って熱くなり、子供相手に真剣勝負。

いい汗かきました(山)。



山田委員

初試合、初シュートはハイスティックでファールでした... スノーホッケーは、運動量もゲーム性もありとても良いと思いました(長)。

## 問い合わせ先

- 北海道・札幌スノーホッケー協会  
事務局長 山鼻小学校 志村教諭 (TEL 511-6616)
- 札幌市観光文化局スポーツ部  
企画事業課 (TEL 211-3044)

## 歴史

このスポーツは、昭和57年に開催された北方都市会議で協議された内容をヒントにしたもので、当時、子供たちに人気があったミニスキーと冬のグラウンドを活用して、札幌市教育委員会が開発しました。

ルールや用具は、アイスホッケーやサッカーなどを参考にしており「いつでも気軽にできるスポーツ」として、少しずつ市内の小学校に広がっていきました。



## 大会

毎年、円山競技場において、札幌市長杯を開催しているほか、北区や東区、中央区と西区が合同でそれぞれ大会を実施しています。

当初は、小学生チームのみを参加対象としていましたが、現在、一般チームの参加も認めており、スノーホッケーが誕生した頃の小学生が大人になって参加するなど、多世代にわたって楽しめるスポーツとなっています。

## 用具

用具は、スノーホッケーのために開発された特別なもので、以下の場所で購入することができます。

○株式会社 YSE (TEL 633-1101)  
中央区北1条西26丁目



# 西区スポーツ推進委員会の活動紹介

西区スポーツ推進委員会では、年間を通してさまざまな活動を行っていますが、今回は、「西区みんなで楽しむマラソン大会」をご紹介します。

注目!

## 西区みんなで楽しむマラソン大会

この大会は、マラソンを通してスポーツの楽しさを知ってもらおうと、体育の日に毎年実施しているもので、家族や友人、大人から子供まで、多くの区民が参加します。

参加者は、農試公園をスタートして、それぞれ1、3、5kmのコースをゴール目指して走ります。



- 1 第38回目のマラソン大会のスタートです。
- 2 お父さんもがんばっています。
- 3 完走賞です。おつかれさま。
- 4 スタッフの西区スポーツ推進委員です。

● 西区みんなで楽しむマラソン大会 10月

● 西区少年少女相撲大会 11月

● 西区民雪合戦大会 2月

## 各区のスポーツ情報が満載

札幌市スポーツ部ホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/sports/>

札幌市スポーツ推進委員会ホームページ

<http://www.sapporo-sposhin.jp/>

## 編集後記

2月に、女子アイスホッケー日本代表が、ソチオリンピックへの出場権を獲得したという大変喜ばしいニュースが流れました。しかし、アイスホッケーの競技人口は少なく、始めたいと思っても、使用する用具が特別なことに加え、競技ができる時期や場所が限られており、一般的にはなじみが薄いスポーツです。

そこで、今回は、アイスホッケーの雰囲気を手軽に楽しめる、スティックとボールを使った2種類のスポーツ「フロアボール」と「スノーホッケー」を紹介しました。

友穆編集委員も体験してみましたが、基本的なルールなどを教わり、すぐに試合を楽しむことができましたので、皆さんにも、ぜひ試していただきたいと思ひます。